

新潟 学費助成拡充へ 多子加算も実現 詳報

推進ニュース No.46 で速報した新潟県の県単新設について、詳報が届きましたので掲載します。年収910万円未満まで年額24000円のほかにも、私立高校生が2人以上いる世帯で2人目以降に加算措置も実現しました。さらなる制度拡充に向けて、運動を広げていく検討をしています。

にいがた私学助成をすすめる会ニュース

子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に！

2024年2月28日

新潟県私学の公費助成をすすめる会
新潟市中央区弁天橋通1-13-13
TEL 025-286-76002024年度県予算で学費助成拡充へ！
年収590万～910万円未満世帯に年額24,000円の助成
私立高校生2人以上の世帯で第2子以降に加算措置も実現

2月14日、新潟県の2024年度予算案が発表されました。私立高校関係予算では、学費助成で大きな前進がありました。私たちは、この間県に対して「年収590万円のカケ」の是正のため年収590万～910万円未満世帯への新たな助成の実現を再三にわたり求めてきました。ついにその要望が叶い、新年度予算では「子育て応援分」として新たに1億2,400万円が計上され、年収590万～910万円未満世帯に年額24,000円の助成が実現しました。さらに、この世帯で私立高校生が2人以上いる場合、2人目以降に所得に応じた加算措置も実現しました。

学費助成拡充の背景には、私学助成署名を中心に、8割の県内市町村議会からの県知事宛の意見書、父母・生徒・教職員の声を集めた知事宛メッセージカード、北陸4県共同による北陸ブロックキャラバンでの県要請、県総務部長要請など、県行政に迫る運動を継続して行ってきたことが挙げられます。今年度では、4年ぶりに街宣行動を県内3地域4ヶ所で実施し、市民に「私学の無償化」をアピールしました。予算編成前の11月の県総務部長要請には久々に現役父母が参加し、学費負担の大変さを訴えました。これらの動きも成果の一つに挙げられます。

今回の成果に確信を持ち、引き続き私学助成の増額・拡充の運動をいっそう広げていきたいと思います。

2024年度私立高校関係予算案の主な内容

① 県独自の学費助成

8,013万円⇒7,314万円(前年度比 -699万円 -8.7%)

- ▼入学金助成 対象: 年収270万円未満世帯 助成額: 73,700円(前年度同対象・同額)
- ▼施設設備助成 対象: 年収270万円未満世帯 助成額: 23,800円(年額)(前年度同対象・同額)

※うち学費負担困難世帯: 施設設備費全額助成(前年度同対象・同額)

(新規)

子育て応援分 1億2,400万円

- ▼授業料助成 助成対象: 年収590万～910万円未満世帯 助成額: 24,000円

※私立高校生が2人以上いる世帯は、第2子以降所得に応じて加算

② 私立高校経常費助成(経常費2分の1助成制度維持)

45億4,380万円⇒45億5,426万円(前年度比 +1,046万円 +02%)

○生徒一人当たり助成額363,004円(前年度比 -2,429円)

※「経常費2分の1助成」としながら、実際に経常費支出されているにもかかわらず経常費助成対象から除外される経費があること(入課税手当・寮や食堂の経費など)、市町村が独自に実施している経常費助成を「二重の助成」として減額していることなど、「真の2分の1助成」になっていない問題がある。

③ 奨学のための給付金(非課税・第1子高校生世帯で増額)

1億8,774万円⇒1億8,896万円(前年度比 +122万円 +0.6%)

- ▼生活保護世帯 52,600円(前年度同額)
- ▼非課税世帯で第1子に高校生 142,600円(前年度比 +5,000円)
- ▼非課税世帯で第2子以降に高校生 152,000円(前年度同額)

④ 私立高校特色教育チャレンジ支援事業

7,045万円⇒7,045万円(前年度同額)

補助対象: 私立高校が行う特色あるとくみ(医学部等難関大学進学コース設置・全国レベルのスポーツ・芸術の強化策など)に対して補助。私学教育を歪める懸念。 対象19校(通信制3校含む)

⑤ 私立高校施設整備費助成

2,198万円⇒2,282万円(前年度比 +84万円 +3.8%)

補助対象: 私立高校が行う学校施設の整備事業に対して助成。対象4校